
第 65 報 平成 26 年 10 月 17 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 コンクリート用砕石／八戸 】

八戸地区のコンクリート用砕石(20～5mm)はm³当たり4,100円と前月比200円上伸した。燃料費の高止まりを背景に製造および運搬費の負担増が続いている中、メーカー側がコスト上昇分を吸収すべく売り腰を強めてきた結果、ここにきて値上げが浸透した。需給が均衡状態にあることから、当面、横ばいで推移する見通し。

【 再生クラッシュラン／八戸 】

八戸地区の再生クラッシュラン(40～0mm)はm³当たり2,000円と前月比200円上伸した。コンクリート用砕石と同様、製造および運搬費が上昇していることや、原材料となるコンクリート廃材の不足という事情が加わって、メーカー側は特に売り急ぐこともなく販売姿勢を強化してきたことから価格は上伸。先行き、横ばいで推移する見通し。

【 セメント (バラ) 】

宮城県沿岸部の出荷量は前年を割り込んでいるものの、岩手県、福島県沿岸部は復興道路、漁港関連工事を中心に需要は旺盛である。4月からの値上げ交渉では、沿岸部ではユーザー側の値上げ受け入れが進んでいるのに対し、内陸部ではいまだ浸透しきれていない状況だが、メーカー各社は秋口以降の需要最盛期に向けて売り腰を強めている。先行き、強含み横ばい推移の見通し。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2014年 9月号	700円/m3上伸 1万4,000円	10月10日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7,700円	10月10日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	10月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	10月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	10月10日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	10月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 単位:m3 (P170～) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 11月号	200円/m3上伸 4,100円	10月10日	燃料費の高止まりを背景に、製造および運搬費の負担増に苦慮してきた供給側が、コストアップ分を吸収すべく売り腰を強めてきた結果、値上げが浸透しm3当たり200円上伸した。需給は均衡状態にあるため、当面、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	10月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2014年 9月号	100円/m3上伸 3,700円	10月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	10月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2014年 11月号	200円/m3上伸 2,000円	10月10日	燃料費が高値で推移する中、製造および運搬費が上昇しており、同時に原料のコンクリート廃材の不足という事情も加わって、供給側では売り急ぐこともなく販売姿勢を強めてきた結果、価格はm3当たり200円上伸した。先行き、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	10月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	10月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	10月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	10月10日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	10月10日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	10月10日		均衡	横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	10月10日		均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	10月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	10月10日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	10月10日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	10月10日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	10月10日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	10月10日		均衡	横ばい
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	10月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	10月9日	鋼矢板は、足元の需給環境に大きな変化はないものの、渇水期を迎え需要が増加するものと見込まれており、需給環境はタイトに転じるものとみられる。一方、鋼管杭、鋼管矢板は、大型プロジェクトが多数控えており、需給は引き締まっている。すでにメーカーは納期調整に苦慮しており、特に加工の多い製品の調整が懸念される。メーカーは輸送コストの上昇を背景に鋼管杭の販価を引き上げたい意向で、先行き、強含み推移。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	10月9日	9月中旬まで鉄屑価格が上昇していたことや円安の影響による副原料の上昇を背景に、流通側は値上げを打ち出したものの、9月下旬以降、鉄屑価格が下落に転じていることから、需要家は価格引き上げに難色を示している。そのため、値上げの浸透には時間を要するものとみられる。先行き、横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	10月14日	宮城県沿岸部の出荷量は前年を割り込んでいるが、岩手県、福島県沿岸部は復興道路、漁港関連工事を中心に需要は旺盛である。4月からの値上げ交渉は沿岸部とは対照的に内陸側ははまだ値上げが浸透しきれていないものの、メーカー各社は秋口以降の需要最盛期に向けて売り腰を強めている。先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	10月8日	円安による先高感から、需要家側では早めの手配が見られており荷動きが活発化、一部で品薄の規格が生じている。今後、さらなる高値製品の入荷が控えており、販売側では一段と売り腰を強めていく構え。先行き、強含み。	均衡	強含み
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	10月8日	沿岸部では、海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いている。品薄状態は一服し、現在入荷は順調。価格は高止まりしており、今後も需要が見込まれることから、先行き、横ばいで推移する見込み。	均衡	横ばい
		228 ～ 235	一般建築用 木材	10月8日	需要は災害公営住宅の建設が本格化してきているが、民間の新築需要はまだ回復に至らず、盛り上がり欠けている。また、職人不足の影響から工期の遅れも目立ち始めている。需要は回復の兆しが見えず、先行き、動意薄く横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品	10月10日	原油価格が8月よりさらに下落したことを背景に、元売会社は卸価格を引き下げた。加えて、天候不順などの影響により需要に盛り上がりを欠中、流通側が数量重視の販売姿勢を示したことで価格は下落している。足元、元売卸価格がもう一段引き下げられるなど、市況の好転材料に乏しく、先行き、弱含み。	やや緩和	弱含み
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	10月14日	官需・民需とも発注が好調でリース材の稼働率は好調に推移しており、同時に販売需要も増加している。リース、販売とも需要は増加基調にあるものの需給は均衡しており、リース料金・販売に価格変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	10月14日	東北地区では復興関連の物件が一巡し、大手レンタル事業所の買い入れの影響もあって需要は一段落の様相を呈している。当面、現行水準を横ばいで推移する公算が大きい。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	10月9日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】</p> <p>震災復興工事関連の需要は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れているが、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫しており、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応出来ない場合もみられる。母材となる鋼材価格が高止まりしているため、リース業者各社は見積価格を引き上げ、安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しているため賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も大きな需要が見込まれており、先行き、強含み。</p> <p>【敷き鉄板】</p> <p>東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、在庫保有量が多い関東地区も需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を比較的引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げて安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しており賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も高い需要が見込まれ、先行き、強含み。</p>	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	10月14日	東北地区における復興関連工事向けの出荷が一巡し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍の高水準が続き堅調に推移。一方、全国のスト・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給そのものに支障は生じていない。 原油価格は弱含みだが、輸送コストの上昇が続くため、目先、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	10月8日	メーカーは約15%の減産を継続しているものの、出荷量が生産量を上回るまでになく、荷動きは回復していない。メーカーは9月より値上げを打ち出しているが、需要の盛り上がり欠ける中、需要家側の反応は鈍く、先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	10月9日	東北地区は復興関連需要を中心に荷動きは堅調ながら、需要全体をけん引するような数量は出ていない。復興需要の先行きには不透明感が強いいため、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。下期の需要期に入り、全国的に足元の荷動きは改善基調にあるが、供給体制についても現時点では支障なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	10月14日	官需では下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が本格化し、上下水道用・農水用製品の価格が上伸したが、建築・設備用製品については一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連需要が価格動向に与える影響はほとんど出ていない。メーカー側は昨年春に続き、今春からさらなる値上げを打ち出し採算改善に懸命だが、全国的には荷動きが鈍く、需要の盛り上がり待ちつつ市況維持を図っている状況。供給体制そのものに支障はみられず、先行き、強含み横ばい。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	10月9日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の継続的な発注と自治体等の大型工事の発注が重なり、昨年度末のようなひっ迫した状況になりつつある。 専門工事業者は、数年にわたり下落した単価をオリンピックを含めた需要増を見込んで、適性な水準に戻したいとの意向を強めている。引き続き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	10月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、国・自治体等、復旧・復興関連工事が引き続き進められている中、昨年度末に複数件発注されたトンネル・橋梁等大型工事の影響もあり、以前から続く労務不足が解消される兆しは見えていない。特に鉄筋工については専門工事業者の強気な交渉姿勢から『土木施工単価』秋号で5%前後の価格上昇となった。 工事業者側では今後も労働者、建設機械の不足状況はしばらく続き、工事費相場は専門工事業者優位との見方が強いものの、目先、横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	横ばい
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	10月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、災害復旧工事を中心とした港湾工事が多く発注されており、港湾工事業者では労働者確保に苦慮したことから、型枠工は『土木施工単価』秋号で5%前後の価格上昇となった。 港湾工事業者側では、内陸部での土木、建築工事を含めた今後の工事発注量次第ではさらに労務不足が深刻化するとの見方もある。価格面では現状に大きな変動は見られず、目先、横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	10月8日	沿岸部の水産加工場等の施設や、内陸部の復興住宅等の工事が本格化しているほか、オフィスビルや住居向け物件も見られる。 工期や工程の遅れが常態化している中、職人の稼働率は徐々に高まり、需給はひっ迫の度合いを強めている。また、隣接県等からの応援に頼らざるを得ない状況にも変化はなく、労務不足が解消されるメドは立っていない。先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	10月8日	沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているほか、住居・オフィスビル等の物件も継続的に見られる。 夏場以降、工事の本格稼働に伴い、労務需給のタイト感が一段と強まっており、総合工事業者は型枠工確保を最優先せざるを得ない状況となっている。型枠工不足はこの先も続くものと見られているだけに、引き続き強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み